

# 自蹊庵便り

令和二年 神有月

NO 146

く天と地と人とく

千葉のわが家近くも、車窓より見ゆるい  
ずこの景色も巡り、田すべて刈田に様変わ  
りしました。

厳しかった残暑もようやく衰えたかと思  
う今日、九月二十一日には富士山に初雪の  
ニュース、昨日は関東地区では三十度近く  
もありながら、上空では初雪という。ゲリ  
ラ台風をも含め、天の営み誠に計りがたき  
この頃にごさいます。

今一つはかりがたきは、そのような秋深  
みゆく移ろいのなかにあっても、コロナ禍  
だけは一進一退にて世界中に居座り続け  
おります。地上にては人住まう所、コロナ  
住みつく心地にて、先進国ではこの新コロ  
ナウイルスが住みつかないよう寸暇を惜し  
んで研究に余念なき日々にごさいます。

しかしながらこのように長期化してまい  
りますと、共存の智恵と精神力を養って前

に進まないとすべてが疲弊し、立ちゆかな  
くなるのが懸念されております。

世界中で倒産の連鎖とともに、自殺者の  
連鎖もおこるやも知れず、社会の快復力に  
思いをはせますと、覚悟のいることにごさ  
います。

天と地と人との神秘的なまでのバランスは  
いつも尊く、朝日昇りゆくさまに希望を抱  
き、沈みゆく落日の美しさに、その瞬間は  
だれもが祈りを抱いているような気がいた  
します。

何処の国も大自然の営みは厳しさと背中  
合わせの美、台風も地震もつきものの日本  
にあつては、一喜一憂の折々にごさいます。  
天の営みと地の営みと人々の営み、只今ほ  
どしみじみと対峙したことはなかったよう  
に思います。

世界中の多くの人々が不安の日々を戦っ  
ており、只今このとき、天に祈り、地に問

い、人が人としての優しい眼差しが貧しく  
なりませぬよう、誠に誠に祈るばかりにご  
さいます。

そのようななか、八月の初め前橋にて講  
演の機会を得、(これとて五月の予定が延期  
されての実施にごさいましたが)密になら

ないよう配慮されながらも、多くの皆様の  
お運びに感謝に堪えぬ心地にごさいました。  
そしてまたその講演がラジオで放送され、  
それがまたスマホでも二ヶ月は聴くことが  
可能という、そんな中、つい先頃、先のド

イツの旅編も国際放送で世界各国に放送さ  
れ(編集子・英語版です)それさえもスマ  
ホのオンデマンドで二ヶ月は見たい時に見  
られるという、誠に携帯電話の機能という  
ものの便利さには驚かされますが、世界が  
随分と小さくなってしまったような心地が  
いたします。(編集子・ラジオの講演は既に

ユーチューブにも出廻っております)

ラインというものが世界中で無料で成り立っている仕組みも良く解らぬままに、このような世相の折に自分のような者が、只今スマホの恩恵を受け、多くの皆様からお手紙を戴いております。

何一つお答えできるすべも持ち合わせておりませんが、過分なお手紙の数々、ありがとうございます。紙面をお借りし、お礼申し上げます。

コロナ禍の許、最も小さき者の存在が、なぜか厚かましくテレビやラジオを時同じくして放送されるという神様のいたずらと思えぬ偶然にも不思議さを感じております。

このような世相の中にあつて、私のような者の咄に耳を傾けてくださり、わずかでも元氣の手立てになってお役に立てることができたのであれば、身に余ることと恐縮いたしております。

只今はお一人お一人にお手紙の返事を書くこともできませんが、心より重ねてお礼申し上げます。

そして、私に耳を！目を！お貸しください

った多くの皆様に深く深く感謝申し上げます。

天と地と人と、そのバランスの妙味は必ずや、そうたやすく崩れるものにてあらず。と私は信じます。

そしていつ果てるとも予測のつかないコロナ禍ではありますが、現実をうべないつつも、前を向き、出来ることをし、いつも不思議な時間の流れに乗って、何処に辿り着くとも見えずして、今を生かされております。

先のこと分からぬがゆえにこそ「今を生きること余念なく」という言葉、この世情下、案外生き易き手立ての一つかもしれませんね。

多謝!!

## 各種教室の予定

### 東金教室

神無月茶事 (名残)

十月十一日 (日)

十月十四日 (月)

十月十五日 (火)

霜月茶事 (口切り)

十一月八日 (日)

十一月九日 (月)

十一月十日 (火)

会費 一万円 (レギュラー者)

一万二千元 (単発参加者)

開炉の月 (十一月) は

実壺料三千元を加算いたします。

○連日研修者は、翌日は五千元で参加できます。

○宿泊希望者は、早めにお申し込みください。七名まで一泊二千元です。

京都教室（余慶庵）

十月 名残の茶事

十月二日（金）

十月八日（木）の間在京します。

十月三日（土）

午前九時～正午

八瀬のまなびや（料理・菓子他）

午後一時～午後四時

余慶庵（水屋・本席）

十月四日（日）

名残りの茶事

十月五日（月）

名残りの茶事

十月六日（火）

名残りの茶事

三日間共 開始 午前九時

席入 正午

終了 午後四時

十月七日（水）

午前十時～正午 後片付け

十一月 口切りの茶事

十月三十日（金）

十一月六日（金）の間在京します。

十月三十一日（土）

午前九時～正午

八瀬のまなびや（料理・菓子他）

午後一時～午後四時

余慶庵（水屋・本席）

十一月一日（日）

口切茶事

十一月二日（月）

口切茶事

十一月三日（火）

口切茶事

三日間共 開始 午前九時

席入 正午

終了 午後四時

十一月四日（水）

午前十時～正午 後片付け

茶事教室会費

二万円（レギュラー）

二万三千元（年三回以上参加）  
二万五千元（単発参加者）

※十一月は、実壺料三千元を

加算いたします。

※連日参加者の会費について、

一日分は正規の会費、他の日は

一日五千円の研修費となります。

※八瀬のまなびやの宿泊費

（一日あたり）

レギュラー 二千元

その他 三千元

※食費として千円の御協力を

お願いいたします。

利休会記を読み解く会

（十月より三週目に変更です）

目黒・羅漢寺

十月十七日(第三土曜)

十一月二十一日(第三土曜)

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千円(昼食・一服)

三千円(会のみ)

柏泉亭(柏グループ)

十月二十一日(第三水曜)

十一月十八日(第三水曜)

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千円(昼食・一服)

三千円(会のみ)

栃木農園レストラン

口悦会・利休会記を読み解く会

午前十時から正午 昼食後解散

十月十五日(第三木曜)

十一月十九日(第三木曜)

会費 五千円(昼食代別料金)

湯河原教室

口悦会・利休会記を読み解く会

初日・旬の食材を楽しむ会

二日目・利休会記を読み解く会

十月十八日(第三日曜とその続き)

十月十九日(第三月曜)

十一月十五日(第三日曜)

十一月十六日(第三月曜)

会費 五千円(一日のみ)

八千円(二日間)

※まだまだコロナ禍はおさまっていません。御自分の体調、家族の状況などお考えいただき、御参加を御願ひします。

マスクの着用など感染防止の御協力をお願いします。

万一、体調不良の場合は、参加を

御遠慮ください。

寺泊つわぶき茶会のお知らせ

十月二十四日(土)

講演会 午後一時半〜三時

十月二十五日(日)

茶事 定員十五名(先着順)

問合せ 住吉屋 代表 三上徹人

長岡市寺泊竹森二二三

FAX 0258(75)5161

NHKカルチャーからの御案内

口切り茶事 正午

十一月五日(木)・六日(金)

※NHKカルチャーからの御依頼により、京都自蹊庵八瀬のまなびやにて実壺の口切り茶事をおこないます。お問合せ(会費、アクセス)、申込等はNHK文化センター梅田教室担当中山様まで御願ひします。

TEL 06(6367)0880

FAX 06(6367)0881